

令和5年度 山田っ子の学力向上策

山田っ子のめざす子どもの姿

- ・学年配当の漢字を文章の中で読むことができる子ども
- ・学年の教材を自分の力で読むことができる子ども
- ・課題に対して考えを持つことができる子ども

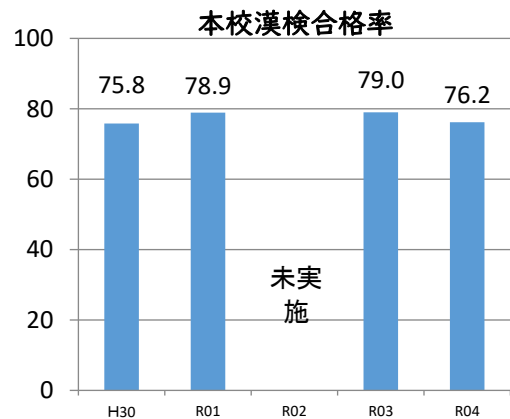
具体的な目標値

- ・漢検合格者を80%突破へ
- ・児童評価「タブレット等を用いた授業は楽しい・ためになる」の強い肯定率70%以上
- ・児童評価「自分のことが好きである」の強い肯定率40%以上

今年度の重点的な取組



- ・漢字ウィーク・プレテストの実施
→目的意識を明確に持ち、漢字学習に計画的に取り組めるようにする。
- ・ICTの活用
→児童全員がタブレットを使っている学習に意欲を持って取り組めるようにする。
- ・ユニバーサルデザインの視点での授業づくり
→「焦点化」「視覚化」「共有化」をキーワードとしてだれもが「わかる」「できる」学習の実施。



めざせ80%
突破
【目標値】

授業改善 【山田スタンダードの構築】

くさつ(草津)型アクティブ・ラーニングを実施。ICTを活用し、デジタルとアナログを融合した授業を全クラス展開。



多層指導モデル MIMの活用

低学年を中心に、子どもたちのつまずきやすい『特殊音節』が確実に読めるように指導。



めざす子どもの合言葉

や…やさしく
ま…まけない
だ…ダイナミック

家庭学習の推進

啓発リーフレットを配布。実施率100%を目指して、全校体制で取り組む。

朝・昼学習の充実

基礎基本の定着を図るために朝・昼学習を実施。
【朝の学習タイム】
月：音読 火：視写 水：漢字
木：読書 金：計算
【昼の学習代務】
火・木：漢字、計算など



山田こども園との園小連携の取組

一貫した指導内容

- ・規律正しいリズム
毎日のバランスのとれた食事、適度な運動、トイレの習慣、あいさつなどの習慣が身につくようにします。
- ・がまんする力の育成
順番を守ったり、苦手なことにもチャレンジしたりするように指導します。
- 【具体的な活動】
- ・指導者の情報交換
- ・授業、保育参観
- ・1年生と5歳児の芋植え、芋掘りなど

松原中学校区 共通の取組

生きぬく力の礎育み推進会議

各校園所館と家庭・地域が一体となり、人権教育を基盤とした取組のもと、自尊感情の育成や長欠・不登校・問題行動の減少、進路保障の充実等を図り、子どもが自己表現を図れることをねらいに、実践交流や研修等に取り組んでいます。

【具体的な活動】

- ・運営委員会での情報交換
- ・授業、保育参観
- ・実践交流会
- ・子育て構想図の活用
- ・現地研修会
- ・同担全体会
- ・長欠・中退対策委員会